

# 石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

## 日時

平成23年11月20日(日) 17:00～19:20

## 会場

鹿妻小学校 体育館

## 参加者数

約280名

## 主なご意見

### 災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
地盤沈下等で海拔0m以下となったところへ、家を建ててもよいのか。	今のところ規制はない。
湊地区の住居系の表示が途中から点線になって、東側に色がついていないが、この部分はどうなるのか。	TP7.2mの防潮堤と高盛土道路の2重の防御により、今までどおり家を建てることができる。
産業系、住居系のはっきりとした境目はどこか。また、いつの時点でこれが決定した計画として示されるのか。	被災市街地復興推進地域内の皆様に対して個別に説明させていただく。
高盛土道路が整備された場合、津波の被害はどのくらいになるか。どこに整備するのかなど、具体的な案はいつ・どのように示すのか。	今回のような規模の津波は、防御する。今年中に道路に隣接する方に対して個別に説明に伺う。
地盤沈下した道路は直すようだが、道路と宅地の段差はどのように解消していくのか。下水道などの復旧は。	国土地理院によると牡鹿半島先端で115cm、渡波で70cm、鹿妻で67cmの沈下があった。湊・鹿妻地区も下がっているが、道路の災害復旧がかなり遅れている。下水道についてもなかなか進まないという実情があるが、最終的には完全に復旧する。
緑町の高盛土道路整備が予定されているところの目の前に家がある場合、居住区域でも実際住めないのでは。	緑町は住居系として今までどおり住むことができる。家に入出入りできる側道を整備するので問題ないと考えている。詳細な図面が出来たら、個別にお伺いするなどして対応したい。
避難路は原則徒歩だが、高齢者や子どもがいる方の車用として牧山の中腹に広場を設けるか、牧山を通過して抜ける道路を整備してほしい。	牧山の避難路について、今後、広場などの整備も考えていきたい。

質問・意見	回答
夜間に震災が発生した場合を想定しているか。	情報の伝達手段を考え、防災無線機の充実、防災教育を学校や地域で行い、避難場所についても地区毎にお知らせする。 停電しにくいまちづくりとともに避難ビルの指定なども考えている。
防災無線は、聞こえないので個別受信機をつけてほしい。	新しい防災無線に切り替える。また、状況に応じて個別受信機の設置も検討したい。
市街地調整区域を市街化区域にして宅地造成してはいいかがか。	市街地調整区域の市街化区域への変更は、国がすべて認めてくれるわけではなく、現状では、防災集団移転事業などでしか認められない。

## 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
堤防整備に5年かかるということなので、それまでは怖くて家を建てられない。生活再建支援制度の加算支援金を受けられないのでは。	現在の生活再建支援制度では、住宅再建の仕方に応じて支給される加算支援金は、申請期限が37ヶ月以内となっているが、再建までに時間を要するため申請期間延長を要望していきたい。期間延長は県が定めるので、延長が決定した場合は、市報やマスコミ等を通じてお知らせする。
高齢者等生活弱者と言われるような方々を対象としたアンケートを実施して、高齢者対策等を講じてほしい。	高齢者対象の住宅の計画もある。福祉施設も大きく被災しているので高齢者をサポートする体制についても対応していく。在宅の方も含めて訪問によるケアについても対応させていただいている。
医療費減免の延期はできないのか。	国から延長の通知はないが、機会をみて要望する。
市立病院を根岸地区に建設してはいいかがか。	市立病院は市内全体のバランスを考えて建設場所を検討していく。無医療地域にしないように考えたい。

## 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
放射能について、農作物、水産物、学校関係での測定は行っているのか。	農産物については事前調査、収穫後の調査を石巻全域で行っている。水産物については東北大学の協力のもと、調査を行っている。保育所、駅前、小・中・高校でも測定しており、現在まで異常な数値は出ていない。
失業者への対応について、企業が再開するまで時間がかかるが、就職まで失業保険給付を受けられるか。	失業保険の給付は2回ほど延長されているが、年明けから春先にかけて打ち切られていくものと考えている。現段階では「法律に基づいて」となる。

## 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
学校はどのようになるか。	11月1日から、学校の現状と今後の方向性の説明を保護者対象に行った。提示した案は、湊第二小は湊小と鹿妻小との学区調整、または、湊小と湊第二小を統合し湊小の現校舎で復旧するもの。湊中は補修で対応可能だが被害が大きいため移転を考慮。渡波中は現地復旧が難しいと思うので、渡波駅の裏に用地が確保できればそちらへの移転新築を考えている。今後は、在校保護者だけでなく地域の皆様の意見をいただき、教育委員会で最終的な案を作成していく。
特区制度はどのようなもので、どのように活用するのか。	国会審議中の震災復興特区法案における3つの特例 ①復興を推進するための税制の特例 ②各種土地利用規制の緩和・手続簡素化の特例 ③区画整理、復興の公営住宅など5省40事業の補助事業をまとめた交付金の活用を図ること。

## その他

質問・意見	回答
予算があって今回の素案を出したのか。理想なのか。	これは具体的な案であり、きちんと国の予算がつけられる。
復旧が遅いのではないか。国の予算を待たずに、市が先行して復旧事業を進めた方が良かったのでは。	事業には莫大な予算がかかるため、遅くなった。とても市単独ではできないので御理解願いたい。
市として意見交換会の内容をオープンにする意向はあるか。	市報や市ホームページへの掲載などを考えている。